

第3回嘉麻市総合計画策定審議会 会議録

- 1 会議等の名称 第3回嘉麻市総合計画策定審議会
- 2 開催日時 令和8年4月8日(水) 10:00～
- 3 開催場所 嘉麻市役所本庁舎5階 本庁舎5階委員会室3
- 4 公開または非公開の別 公開
- 5 出席者

(1) 出席委員

嘉麻市誘致企業振興会	豊田 晃久
学識経験者	井原 徹
株式会社福岡銀行	松井 英之
自治労嘉麻市職員労働組合	後藤 雅子
J Aふくおか嘉穂	平畑 英幸
嘉麻・桂川保育協会	溝口 恭子
嘉麻市行政区長連合会	大屋 正義
嘉麻市PTA連合会	木下 真智子
一般公募	志水 真由美
一般公募	皆川 遼

(2) 欠席委員

嘉麻市観光まちづくり協会	中村 瑠梨
九州テレ・コミュニケーションズ (株式会社ケーブルステーション福岡)	中村 香織

※順不同、敬称略

(3) 執行機関

総合政策課	課長	小林 純一	課長補佐	伊藤 一洋
	係長	藤内 優	主任	香田 潤佑
	主事	山崎 玲奈	担当	犬丸 亮子

- 6 傍聴人数 0人
- 7 議題及び審議の主な内容

【開催前に事務局より説明】

- 委員及び事務局職員の自己紹介について
- 総合計画及び総合戦略について

【協議・報告】

1. 市民アンケート結果について
2. 令和8年度のスケジュール等について

【その他】

嘉麻市総合計画策定審議会の開催日程について

8 配布資料

- (1) 第3回嘉麻市総合計画策定審議会レジュメ
- (2) 委員名簿
- (3) 「第3次嘉麻市総合計画」及び「嘉麻市人口ビジョン・デジタル田園都市構想総合戦略」について
- (4) 嘉麻市総合計画アンケート報告書(速報)
- (5) 嘉麻市総合計画【中学生】アンケート報告書(速報)
- (6) 第3次嘉麻市総合計画策定スケジュール等について

9 議事の内容

【開会前】

○委員及び事務局職員の自己紹介について

武田委員、林田委員、大里委員の代わりに豊田委員、松井委員、木下委員が新たに就任。事務局については吉田の代わりに伊藤に変更になり、併せて新たに山崎、犬丸が加わった。

○総合計画及び総合戦略について

総合計画と総合戦略について、配布資料(3)「第3次嘉麻市総合計画」及び「嘉麻市人口ビジョン・デジタル田園都市構想総合戦略」についてを使って説明。

- ・総合計画は、福祉、教育、産業、環境など市政全般を対象とし、本市の将来像とその実現に向けた方向性を示す最上位計画である。一方、総合戦略は、人口減少や少子高齢化といった課題に対応するため、地方創生に資する施策に特化した重点的・戦略的な計画として位置付けられている。
- ・現行の総合計画は「第2次嘉麻市総合計画」であり、平成29年度から令和8年度までの10年間を計画期間として、「いきたい・住みたい・つながりたい」をキーワードに、5つの基本目標のもと施策を推進している。また、総合戦略は「嘉麻市人口ビジョン・デジタル田園都市構想総合戦略」として、令和7年度から令和11年度までを期間とし、デジタル活用を含めた地方創生の取組を進めている。
- ・第3次総合計画の策定にあたっては、令和7年度に市民意識調査や市長・各課ヒアリング等により課題整理を行っており、令和8年度には市民会議やメッセージボード、パブリックコメント等を通じて幅広く市民意見を反映し、基本構想及び基本計画の取りまとめを行う予定。

【協議・報告】

1. 市民アンケート結果について

市民アンケート結果について、配布資料(4)嘉麻市総合計画アンケート報告書(速報)及び(5)嘉麻市総合計画【中学生】アンケート報告書(速報)を使って説明。

①嘉麻市総合計画アンケート報告書(速報)について

- ・本調査は、市民の意見を今後10年間のまちづくりの指針となる総合計画に反映させることを目的に、18歳以上の市民3,000人を対象として、郵送およびWEBにより実施され、1,402件(回収率46.7%)の有効回答が得られた。

- ・調査結果について、評価されている点として、市民の幸福度は一定の水準にあり、「自然環境」や「水道水の安心感」など基礎的な生活環境への満足度が高いことが報告された。また、地域コミュニティについては、防災・防犯や見守りへの期待が高く、一定のつながりが維持されているほか、行政区加入率も約7割と地域活動の基盤は保たれている。さらに、市職員の対応に対する評価や、デジタル環境の進展による利便性向上への期待も確認された。
- ・課題としては、暮らしの満足度が幸福度を下回り、「公共交通」「買い物環境」「医療体制」など生活利便性に関する不満が多く見られ、特に公共交通が大きな課題として挙げられた。また、人口流出や空き家の増加といった地域の持続性に関する懸念に加え、地域コミュニティにおけるつながりの実感や参加のしやすさ、行政区活動における負担感なども課題として示された。さらに、商業の活性化、救急・高度医療体制、交通・道路整備など生活基盤に関わる分野のほか、自治基本条例の認知不足、市民参加の仕組み、財政不安への対応、公共施設のあり方などについても課題が指摘された。
- ・調査結果を踏まえ、本市の強みと課題を整理し、今後の第3次嘉麻市総合計画の策定に反映していくことを確認。

②嘉麻市総合計画【中学生】アンケート報告書(速報) について

- ・本調査は、次世代の地域への愛着や定住意向、若い世代のまちづくりニーズ、地域との関わりの実態等を把握することを目的に、市内中学1・2年生を対象として実施された。調査は令和8年2月2日から2月13日までの期間、WEB方式により行われ、427件（回収率81.0%）の回答が得られた。
- ・調査結果として、嘉麻市の魅力については「自然が豊か」が最も多く、「空気のきれいさ」や「人とのつながり」など、自然環境と地域の関係性が高く評価されていることが確認された。一方で、「勉強できる場所」や「遊べる場所」、「イベントの充実」など、若い世代の居場所や活動の場の充実を求める声が多く、商業施設や交通の利便性向上への要望も見られた。
- ・定住意向については、「どちらともいえない」が最も多く、将来の居住意向が定まっていない層が多い状況であった。住み続けたい理由としては自然環境や住みやすさ、愛着が挙げられる一方、他地域を希望する理由としては利便性や交通、商業環境の不足が指摘された。
- ・地域との関わりについては、「ときどき交流・参加」が最多であるものの、関係性や参加意識は必ずしも高いとは言えず、将来的な地域参画についても「わからない」「特にない」とする回答が多く見られた。さらに、10年後のまちの姿としては、商業施設や交通など都市的機能の充実を求める意見と、自然環境の維持を望む意見の双方が見られた。

【主な質疑及び意見等】

(質問) 市民の満足度（嘉麻市総合計画アンケート報告書(速報) 4ページ）の結果について、全体的に5点以上の割合が高く、約7割を占めており、全体としては良い結果に見えるが、地区ごとの満足度はどのようになっているのか。地区別の分析も必要ではないか。

また、アンケートをどの地区にどのくらい配布したのかが分からないと、結果の全体の見方が変わってくるため、均等配布なのか、人口に応じた配布なのかといった配布数の内訳を示すことは可能か。地区ごとの回答率も重要であり、回答率が高い地区はまちづくりへの関心が高い可能性もあると読み取れるのではないか。

回答した年齢構成について、回答者に高齢者が多い印象があり、今後を考えると、できるだけ若い世代の意見を把握し、計画に反映していくことが重要ではないか。さらに、居住地区別の回答割合についても、人口構成に近い結果には見えるが、実際の配布数や回答率を踏まえないと正確な判断は難しく、単純な集計結果だけでなく、配布数や回答率、年齢構成なども含めて分析することで、より実態に近い結果になるのでこの部分に関しても示すことは可能か。

⇒示すことが可能な部分かどうかも含めジャパン総研（委託業者）との協議の上、可能な限りお示しする。世帯構成については、その部分まで聞いている設問がなく、無作為抽出も個人での抽出なのでこの部分については難しいかもしれない。また、今回の資料は速報版としての取りまとめであるため、年代や性別、居住地区などを掛け合わせた詳細なクロス集計までは実施していない資料になっており、これらの詳細分析については現在進めているところであり、整理ができ次第、改めて配布・共有する予定。

(質問) 今回のアンケートの回答率は市が実施しているアンケートの中でもどのように評価しているか。

⇒令和6年度実施した総合戦略に関するアンケートについては3割程度で、直近でも各課が実施しているアンケートでは概ね回答率は3割程度と聞いている。そのため事務局としては今回の回答率は高い評価をしている。

(質問) 回答率が高い要因はあるか。

⇒分析はできていない。

(質問) 中学生アンケートは市内中学全てか。

⇒義務教育学校を含め市内全ての中学生を対象とした。

(質問) 「嘉麻市は旧市町村の合併により成り立っており、それぞれの地域が異なる個性や特性を持っている自治体であり、旧産炭地域や農村地域などが混在しており、非常に特徴のある地域構成となっているため、各地域の特性を踏まえた検討は必要である。

一方で、今後10年先を見据えた市全体の計画を考える際には、地域別の視点と全体的な視点の両方から検討していかないと、将来的な課題への対応が難しくなるため、総合計画においては、地域ごとの分析と市全体としての分析の双方が必要であると考えますが、地区別の分析についてはどのように進めていく予定か。

⇒総合計画の中には地区ごとの方向性（地区計画）のイメージを盛り込む予定であり、約10年前に策定した地域整備基本計画において、各地域に市街地形成、観光・歴史文化、産業育成、移住定住といった方向性を設定し、ゾーニングを行った経緯がある。しかしながら、その後、さらなる具体的な深掘りには至っておらず、結果として各地域が同様の方向性で進んできたことが、現在の人口確保の面で課題となっている可能

性もあり、都市計画の視点も踏まえた地区計画の検討を進めていくことを想定しており、こうした地域ごとの視点も含めながら、今後 10 年間の方向性について議論していきたい。

(意見) まずは大まかな方向性や注力すべきポイントを整理したうえで、年齢層や地域別といった視点で絞り込んで分析していく方が、分かりやすく進めやすいのではないかと。また、移住・定住の促進については重要であるが、将来的には若い世代も高齢者となることを踏まえると、現時点での課題を的確に把握し、早い段階から対応していくことが重要であり、対応が遅れると課題が拡大する恐れがあり、高齢者の現在の困りごとにも十分目を向ける必要がある。そのため、若年層への施策と高齢者への対応の双方について、バランスを見ながら検討を進めていくことが必要。

2. 令和 8 年度のスケジュール等について

配布資料(6) 第 3 次嘉麻市総合計画策定スケジュール等についてを使って説明

- ・本計画は、令和 7 年度に実施した審議や各種取組を踏まえ、令和 8 年度に本格的な策定作業を進めるものである。トップヒアリングについては市長選挙後に実施予定とし、庁内ヒアリングについても必要に応じて追加実施する。
- ・市民意見の把握については、6 月頃に市民ワークショップ及びメッセージボードを実施する予定であり、加えて行政以外の視点を取り入れるため団体ヒアリングも行うこととしているが、対象団体は今後検討する。策定委員会は年間を通じて開催し、基本構想及び基本計画の検討を進めていく。
- ・パブリックコメントは 10 月から 11 月頃の実施を想定しており、それまでに一定程度計画内容を取りまとめる。また、審議会については令和 8 年 4 月に第 1 回を開催しており、今後は概ね 2 か月に 1 回程度の頻度で開催し、進捗報告及び内容の協議を行う。なお、総合戦略に関する会議も別途開催予定であり、日程等は個別に調整する。
- ・市民ワークショップについては、6 月 27 日及び 28 日の 2 日間で、市内 4 地区(稲築・碓井・嘉徳・山田)において開催予定である。対象は 18 歳以上でまちづくりに関心のある者とし、市民に限らず参加可能とする。参加費無料、事前申込不要の当日参加型とし、詳細はホームページや SNS 等で周知する。また、メッセージボードについては、各庁舎及び支所に設置し、テーマを設定したうえで市民から自由に意見を募る形式とする。広報誌にはこれらの取組内容及びアンケート結果の一部を掲載し、詳細はホームページへ誘導する予定である。

【主な質疑及び意見等】

(質問) 原稿では参加条件の年齢が 18 歳以上となっているが、高校生以上にした方が良いのではないかと。

⇒可能であれば高校生の参加についても検討したい。また、実施方法等の都合により対応が難しい場合は、現行の対象年齢で実施する可能性もある。

(意見) 全体的に文字量が多く、内容が分かりにくい。また、文字が多いと読まれにくく、ワークショップの内容や参加するメリットが伝わりにくいのではないかと。

デザイン面においても、参加したいと思えるような工夫が必要であり、イラストの活用や文字量の削減などにより、視覚的に分かりやすく、親しみやすい内容とすることが重要。開催日時や場所などの重要な情報については、フォントサイズにメリハリをつけるなど、見やすさの工夫が必要で、第一印象で内容が伝わるような構成とし、参加を促すような表現やデザインとすることが重要である。

【その他】

- ・今後の会議日程について

6月、8月、10月、12月、2月の第3週の水曜日とする

6月17日、8月19日、10月21日、12月16日、2月17日

開催時間は10時予定

※審議内容等によって変更することもある。